

各 位

上場会社名 株式会社 東 天 紅
 代表者名 代表取締役社長 小 泉 和 久
 (コード番号 8181 東証スタンダード市場)
 問合せ先責任者 取締役管理部長 佐 藤 昇
 (TEL 03-3828-6272)

営業外収益、特別損失の計上及び 2023年2月期第2四半期業績予想の公表に関するお知らせ

当社は、下記の営業外収益及び特別損失を計上し、2022年4月18日に公表した2022年2月期決算短信において未定としておりました2023年2月期第2四半期(2022年3月1日～2022年8月31日)業績予想について、下記のとおり公表いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上

新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金等42百万円を「助成金収入」として第2四半期会計期間の営業外収益に計上いたしました。第2四半期累計期間では141百万円となります。

2. 特別損失の計上

名古屋市中村区の「東天紅名古屋店」閉鎖による原状回復費用65百万円を「店舗閉鎖損失」として、閉店する名古屋店の固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失8百万円を特別損失として、それぞれ計上いたしました。

3. 2023年2月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の公表(2022年3月1日～2022年8月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回公表予想(B)	1,537	△ 451	△ 329	△ 456	△ 177.56
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年2月期第2四半期)	776	△ 485	15	△ 326	△ 126.98

当第2四半期累計期間は、まん延防止等重点措置の解除以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と社会経済活動の両立が図られつつありましたが、7月以降は第7波により、当社では宴会等のキャンセルが増加した結果、前年比では増収が見込まれるものの、新型コロナウイルス感染拡大以前の2019年に比べ52.9%減と大幅な減収を余儀なくされ、営業損失を計上する見込みとなりました。

助成金収入等を営業外収益に141百万円、特別利益に10百万円計上したものの、減損損失8百万円や店舗閉鎖損失65百万円、臨時休業等による損失56百万円を計上した結果、経常損失、当期純損失を計上する見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、引き続き未定としており、今後、算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(注)上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上